



## 友好委員会に感謝



来年の横浜上海友好都市提携50周年という大きな節目を迎え、横浜上海友好委員会の皆様の長きにわたる御貢献に改めて感謝の念を深めるばかりです。

日中国交正常化が実現した翌年1973年に横浜上海友好都市提携宣言が行われました。以来、本市と上海市は両市長の相互訪問や、横浜市上海事務所を拠点とした経済技術交流促進、高校や中学校における姉妹校・友好校提携や書道交流など、幅広い分野で連携、協力を続けています。

2021年には中区の本牧市民公園内にある上海横浜友好園がリニューアルオープン

## 就任ご挨拶



昨年10月の総会書面評決においてご承認いただき、このたび故根本前会長の後任として会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願

横浜市国際局長 橋本 徹

し、市民の皆様への場として親しまれています。

貴友好委員会は1974年に設立されてから、「市民の翼」訪中団の上海訪問や、横浜市国際学生会館（鶴見区）での中国留学生等との交歓会開催など、本市の上海市との交流、ひいては国際交流全般において市民交流という重要な役割を果たされてきました。

今日、皆様の御尽力によって両市の絆はより強固なものになっており、昨今のコロナ禍において相互にマスク等の医療物資を贈り合うなど両市の友情は一層深まっています。

今後の両市の絶え間ない交流と、会員の皆様のますますの御活躍を期待して御挨拶に代えさせていただきます。

会長 竹前 大

い申し上げます。

まず私こと自己紹介させていただきますと、一昨年に横浜市を退職し、現在、(公財)横浜市老人クラブ連合会常務理事を務めております。

これまで友好委員会の皆様とは特別なご縁はありませんでしたが、上海市とのこれ

までの関わりについては、横浜市立大学経営企画課長時代に国際交流センター担当課長兼務ということで大学の国際化にも携わりました。上海市にある協定校である上海師範大学や交流を進めようとしていた復旦大学、上海交通大学などを幾度も訪れ、その際に上海市教育委員会や横浜市上海事務所の方々に大変お世話になりました。おかげさまで、現在横浜市大では上海の多くの大学との留学生交換、研究交流をはじめ様々な交流に発展しているようでしょう。限りです。

また中区長時代には、14万人区民の約11

## 令和4年度も書面表決総会へ

皆様ご案内の通り、コロナ禍が長期に渡り定例の総会・懇親会が開催できない状況にあります。一昨年(2020年度)、昨年(2021年度)に引き続き、今年度(2022年度)も残念ながら書面表決総会とすることになりました。

横浜上海友好都市提携50周年の来年には、総会始め各事業を再開できることを切に願っております(中華街探訪や中国等留学生との交流会もこの3年間中止になりました)。

こうした厳しい状況下ですが、理事を初めとする委員会ワーキンググループ活動は断続的ながら継続してきました。2020年は7月には総会資料作成、昨年8月以降も総会資料作成や今後の活動計画検討等のため、ほぼ2か月に1回程度開催して今日に至っています。

2023年には友好都市提携50周年を迎えますので、記念事業計画について検討を

%を占める外国人住民のうち中国、台湾、韓国の方がベスト3で、特に横浜中華街を中心とした華僑総会の方々とは春節をはじめ様々な交流をさせていただいております。今、切に願うことは、まさに来年の横浜上海交流50周年という大切な節目を迎えるにあたり、このコロナ禍が終息し、以前のような市民交流が一刻も早く再開されることを望んでおります。また減少している友好委員会会員の拡充にも微力ながら尽力させていただきたいと考えておりますので、どうぞ皆様の更なるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

始めています。会員の皆様にも楽しいプランを提案頂ければ幸いです。

(副会長 萩原信吾)  
(★事務局連絡先は2面下段参照)



友好委員会ワーキング(7月「うず潮」にて)

# 新入会員が入会



この度、横浜上海友好委員会竹前会長よりご紹介を頂き、入会しました株式会社オンリーワン・21の村松と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当社は昭和61年から横浜で37年、祝賀会のプランニングやイベントの企画運営を営んでおります。

このコロナ禍で、新たな『人物・事』が集まり、新しい時代と共存をして少しでも社会のお役に立てて行ければと思っております。

(自己紹介) 新会員 村松 和代

又、これまで友好委員会の皆様が築かれた歴史と誇りと友愛を大事にしながら、これからの時代に沿った、横浜上海友好委員会を皆様と築きたいと思っております。

今後コロナ禍が終息し、皆様が行われてこられた市民交流が早く再開されることを願っております。開催された際は微力ながらお力になれるよう努めてまいりますので末永くどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(株式会社 オンリーワン・21 代表取締役)

## 活動再開を願って

コロナ禍が続いておりますが、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと推察いたします。

本年2022年は、横浜市と上海市が友好都市提携して49年になりますが、2年半前の2020年1月3日には、中国の武漢市に滞在中の日本人が発熱を認め、帰国日の1月6日にインフルエンザと診断されましたが、インフルエンザと陰性とされ、肺炎像が確認されたのでした。しかしながら、疫学調査

会員 幸村 圭子

の結果、武漢市で(コロナに)市中感染したことが判明したことなどもありました。

その後日本でもこの2年半益々コロナ感染者が広がり、何時になつたら終息するか先が見えない長いトンネルとなっております。

この間、横浜市長も横浜上海友好委員会会長も変わりましたが、友好委員会活動が早く再開できることを期待しております。

## 「ハクモクレン」に思う

副会長 西村 富枝

旧市庁舎側のスクランブル交差点から、横浜公園へ入つてすぐ左側に、白玉蘭(白モクレン)が植えられています(今はまだ小さい木ですけれど)。上海市と横浜市の友好都市提携40周年を記念して、華僑総会、横浜日本中国友好協会と私たち横浜上海友好委員会、2013年の秋に記念の植樹をしました。根付くまで植え替えが重ねられて、小鳥のくちばしのような小さな蕾を芽吹かせた春先、よくぞ育ってくれたと思う思いがひとしおでした。上海の市の花になっているこのハクモクレンの咲く頃の上海には、まだ訪れたことがありませんが、冬から立ち上がった乳白色の花の時期の上海に、今度こそ行きたいという思いになります。

コロナ禍で、人々が外出を避けている間にも、どの植物もたくましく生きていて、季節を迎えると休みなく葉を繁らせ、未来へと備えているのでしょう。若緑や濃い緑の風を送りながら生きる樹々に、目を奪われながらも、会員の皆様とお会いする機会を持っていませんが、ご安否が気になります。私たちの会は、未来までの世界平和を願う大切な会ではありますが、疫病に負けるわけにはいきませんから、人と人との交流を控えさせていただいております。一日も早くまたお会いできますようお願いいたします。



★新入会員紹介★ 春原隆之さん(事務局次長)

### 「たより」の原稿募集中!

会員の皆様の中国にちなんだ原稿をお寄せ下さい。(400字程度) 文章、写真などジャンルは問いません。(宛先) メール: ogi0090527@yahoo.co.jp FAX: 03-3395-6727 編集委員 荻原信吾